７．魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち

１．産業振興による都市活力創出

１．「としまビジサポセミナー」開催状況

27 年度は、初めて株式上場をテーマとしたセミナーを開催したほか、タイムリーでニーズのある「マイナンバー制度」に関するセミナーを開催した。28 年度は、インバウンド対策や海外展開に関するセミナーも行った。29 年度は最近問題となっている事業承継等について取り上げた。30 年度は近年注目されている「副業」をテーマとしたセミナーを開催した。

【としまビジネスサポートセンター（としまビジサポ）とは】
これまでの中小企業相談室をリニューアルし、相談・支援機能を強化したビジネスサポートセンターとして、平成22年4月に「としまビジネスサポートセンター」を設立。当センターでは、地元金融機関や産業団体など、関連機関が一体となり、新しい協働のカタチをとりながら、資金サポートから経営サポートまでワンストップサービスで対応し、中小企業を支援している。
○サポート内容
①資金サポート
融資のあっせん、利子の補給、保証料補助、セーフティネット認定を行う。また、補助金により事業活動をサポートする。＜金融相談員＞
②起業・創業サポート
これから事業を立ち上げる方へのサポートを中心に、資金、事業計画、諸届け等の相談を受け付ける。＜創業相談員＞
③売上拡大サポート
中小事業者の課題解決に向けて、具体的な提案と売上拡大への支援を行う。＜ビジネスコーディネーター＞
④労務サポート
企業の雇用に関する悩みやトラブルについての相談を受け付ける。＜社会保険労務士＞
⑤税務サポート
事業計画や事業承継、税務・会計などの相談を受け付ける。＜税理士＞
⑥中小企業支援イベント
ビジネスの最新情報を提供するセミナー、新規販路開拓のための商談会、製品・技術PRのための展示会を開催する。

としまビジサポセミナー開催実績

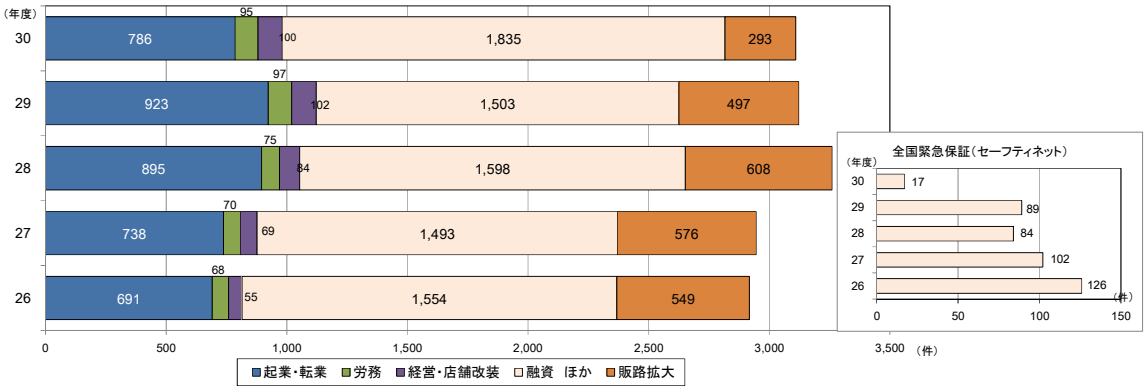
年度	回	タイトル	テーマ	参加者数
27	第1回	会社のさらなる成長を目指して～株式上場の実現～	株式上場	10名
	第2回	繁盛店になるための強いチームの作り方	売上拡大及び人材育成	18名
	第3回	今から出来る！中小企業のマイナンバー対策！	マイナンバー制度	28名
	第4回	飲食店経営者必見！年末商戦を勝ち抜く秘訣	売上拡大	11名
	第5回	いよいよ運用開始、でもこれで安心！ 中小・小規模事業者のマイナンバー実務の対策！	マイナンバー制度	40名
	としまビジサポ 移転記念セミナー	小規模でもできる“小出流”チャレンジの秘訣 ～知恵とアイデアで流れは変えられる！～	販路拡大	125名
28	第1回	インバウンド対策～外国人観光客に対する接客応対術～	インバウンド対策	39名
	第2回	カリスマ起業支援家が教える起業成功の秘訣	起業・売上向上	31名
	第3回	プロが教える外食トレンドと年末商戦を勝ち抜くための販売促進術	売上向上	20名
	第4回	現地駐在員が教える中国ビジネス最新情報	海外展開	20名
	第5回	ネットショップ運営で成功するためのノウハウ	EC・売上向上	62名
29	第1回	人材確保と定着化	人材確保	16名
	第2回	小出流！売れる商品・サービスのつくり方	起業・売上向上	49名
	第3回	”わたし”の起業を実現！～失敗しない創業計画の立て方教えます～	女性起業家支援	21名
	第4回	非上場株式の評価方法改正に伴うこれからの事業承継	事業承継	22名
	第5回	SNSをフル活用！　お金をかけずに販売促進	売上拡大	55名
30	第1回	飲食業の方必見！人口減少時代の胃袋＆人材争奪戦を勝ち抜く方法	人材確保	17名
	第2回	小出流！売れる商品・サービスのつくり方	起業・売上拡大	40名
	第3回	副業を独立の布石に～アンケート結果からみる副業起業の実態～	副業起業	30名
	第4回	ネット活用による販路拡大	売上拡大	31名

出典：生活産業課作成資料

２．としまビジネスサポートセンター窓口相談件数の推移

平成 22 年度、民間金融機関や産業団体等との連携による「としまビジネスサポートセンター」を開設し、起業・創業サポートから販路拡大サポートまで、多様な相談に各種専門相談員がワンストップサービスで対応している。

としまビジネスサポートセンター　窓口相談件数の推移



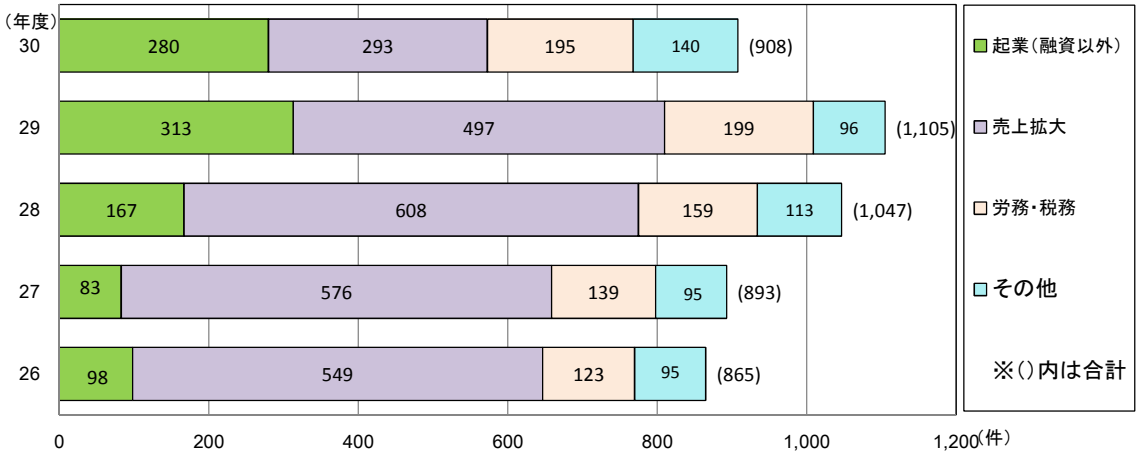
出典：生活産業課作成資料

３．としまビジネスサポートセンターの来場件数（融資以外）の推移

としまビジサポの来場件数は開設以来増加傾向にある。（平成 30 年度に売上拡大の来場件数カウント方法の見直しを実施したため減少に転じている。）

また、ビジサポが「産業競争力強化法」による「創業支援事業」第一次の認定を受けたことにより、26 年には起業に関する相談が 98 件と前年に比べて約 3 倍に増加。29 年度は 313 件、30 年度は 280 件と引き続き起業に関する多くの相談を受けている。

としまビジネスサポートセンターでの起業（融資以外）、売上拡大、労務・税務相談の来場件数の推移



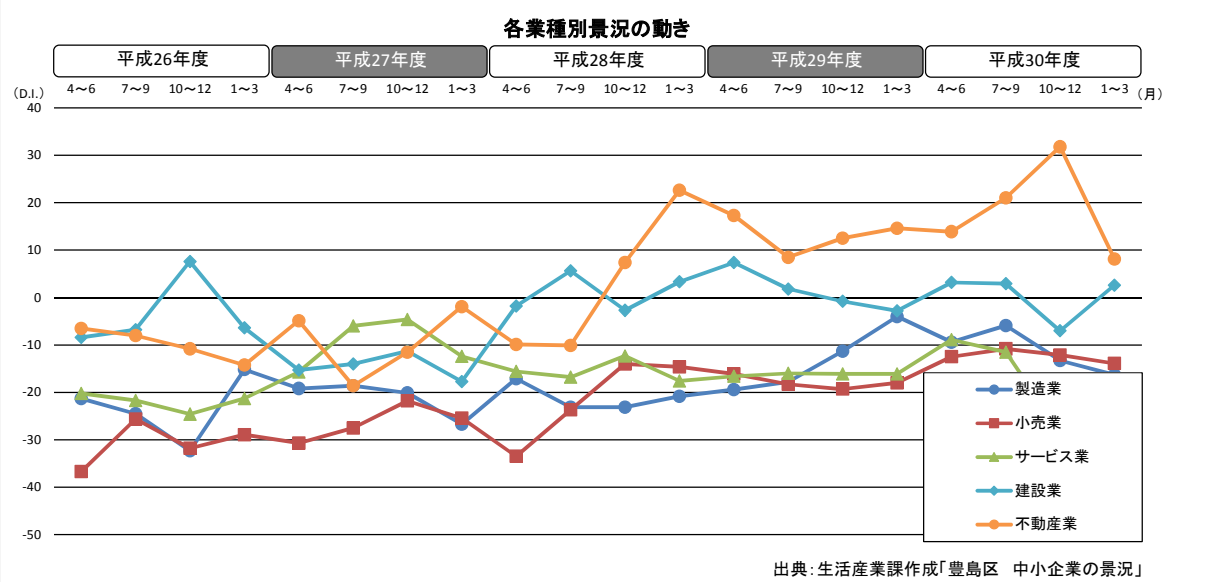
出典：生活産業課作成資料

【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉
としまビジネスサポートセンターでの起業（融資以外）、 売上拡大、労務・税務相談の来場件数	865件	1,000件	1,150件

４．豊島の景況

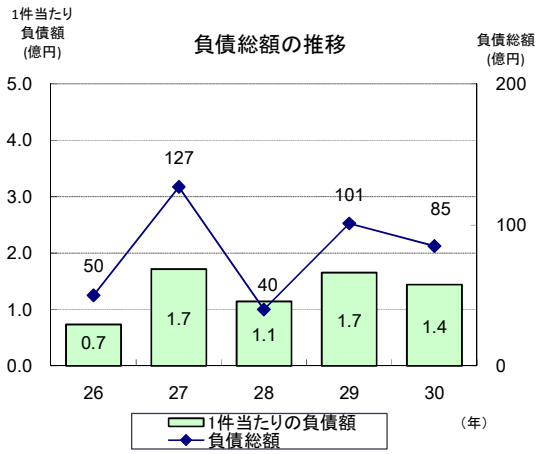
業況 DI 値が、近年マイナスの状況が続いているものの、全体的にマイナス幅は徐々に縮小している。業種別にみると、28 年度以降、建設、不動産業の業況が持ち直している。

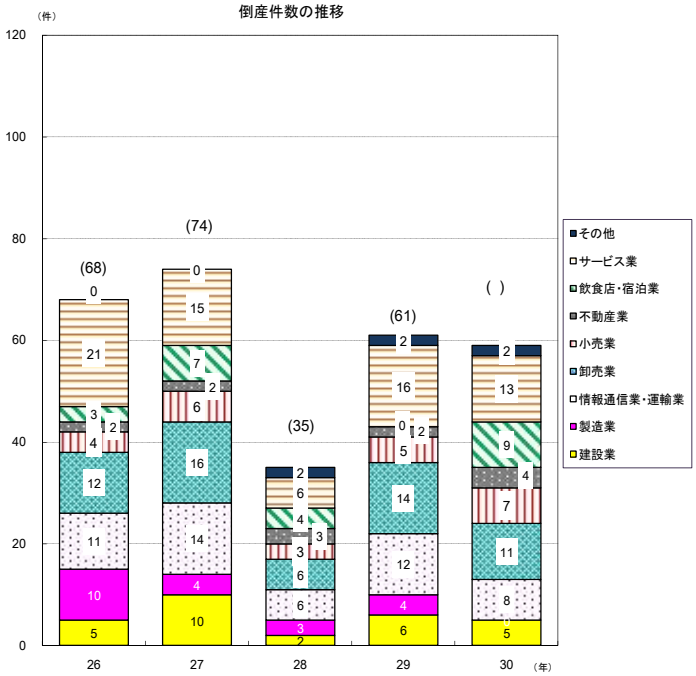


【D.I.(Diffusion ディフュージョン Index インデックスの略)とは】
D.I.(ディーアイ)は、増加(または「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(または「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものである。
※平成25年度から建設・不動産業数値を別々に表している。

５．企業倒産状況

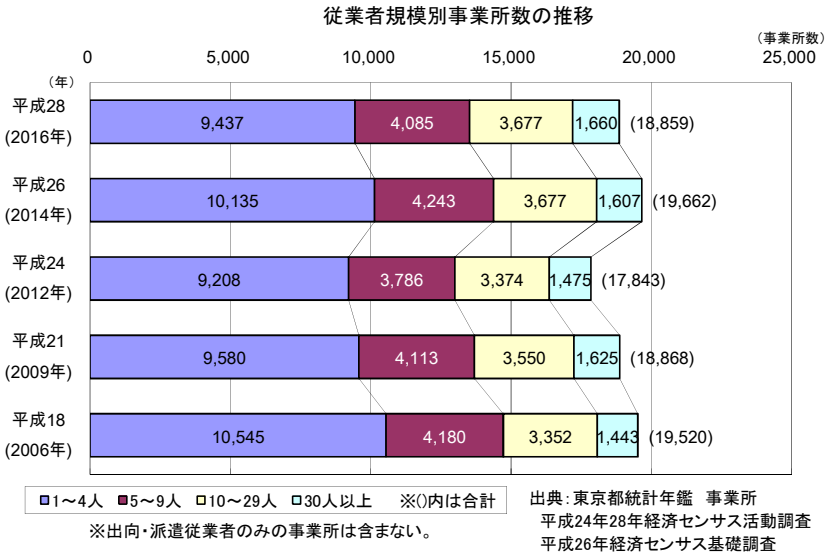
平成 30 年の倒産件数は、前年からほぼ横ばいである。負債総額は前年より減少し、1 件あたりの負債額も減額となった。

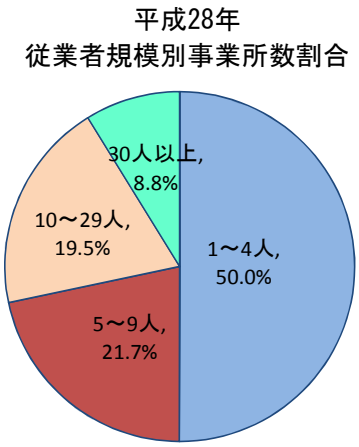




６．従業者規模別事業所数の推移

事業所数については、全体として減少した。構成比については、「1～4 人」が最も多く（構成比 50%）、次いで「5～9 人」（同 21.7%）、「10～29 人」（同 19.5%）と続いており、9 人以下の規模の事業所で全体の 71.7%を占めている。



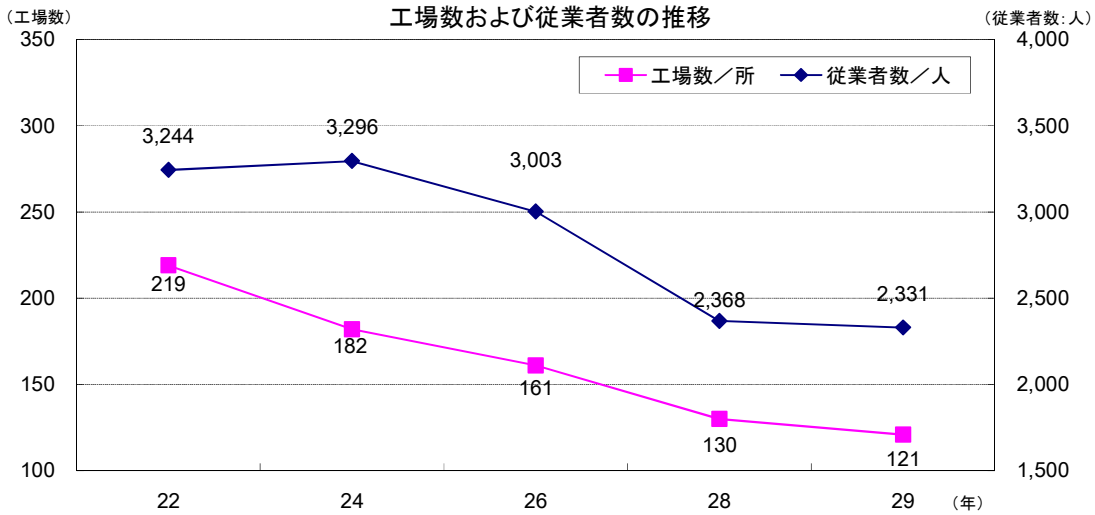


【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
区内事業所数	19,782	20,300	21,000

７．工場数および従業者数の推移（従業員 4 人以上）

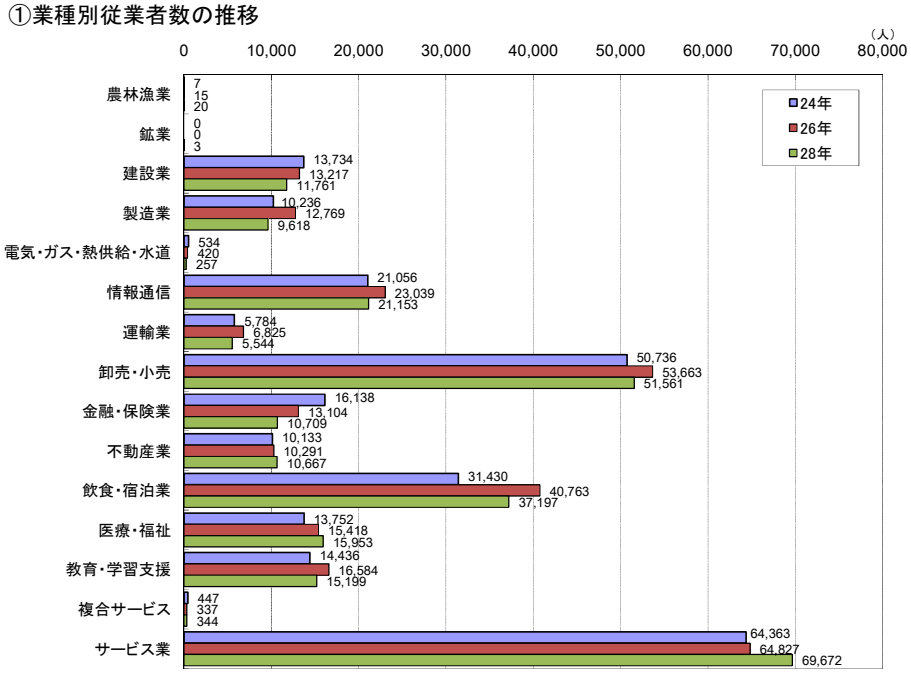
前年に比べて工場数は 9 所減少し、従業員数も 37 人減少した。また、平成 10 年のピークと比較して、事業所数 18.6%、従業員数 24.7%といずれも 1/4 以下に減少している。



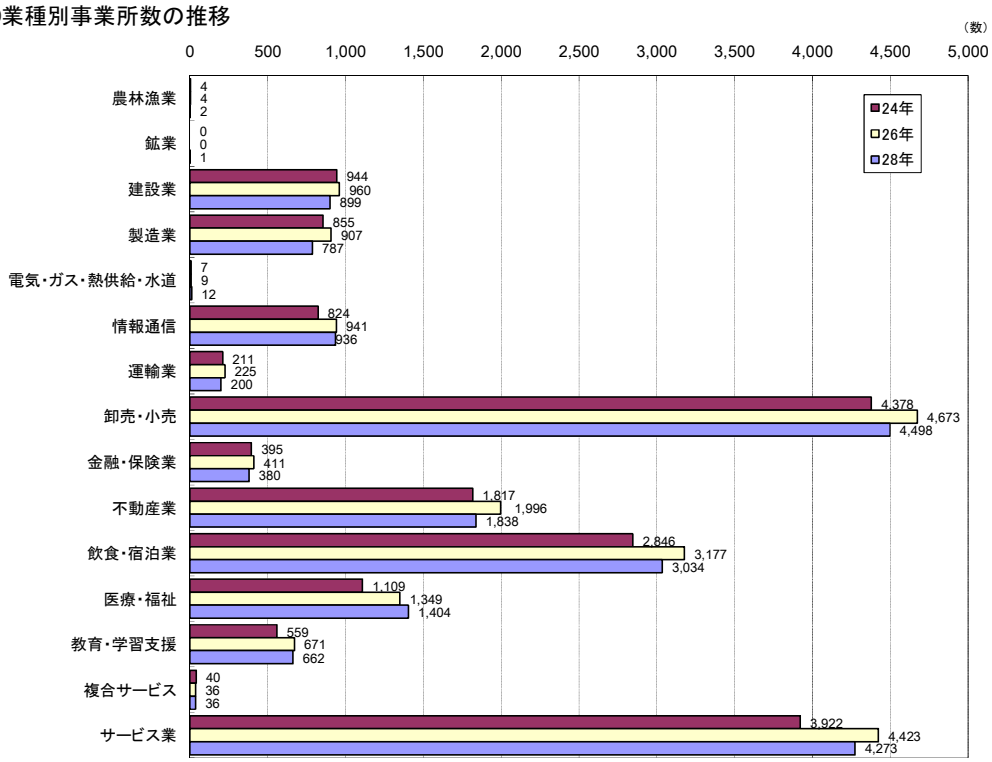
８．業種別事業所数・従業者数の推移

従業者数については、「サービス業」が一番多く、次いで「卸売・小売」、「飲食・宿泊業」と続く。事業所数については、「卸売・小売」が一番多く、次いで「サービス業」、「飲食・宿泊業」と続く。このことから、豊島区内事業所の業種の特徴として「卸売・小売」「飲食・宿泊業」「サービス業」の占める割合が特出して高いことが分かる。

①業種別従業者数の推移



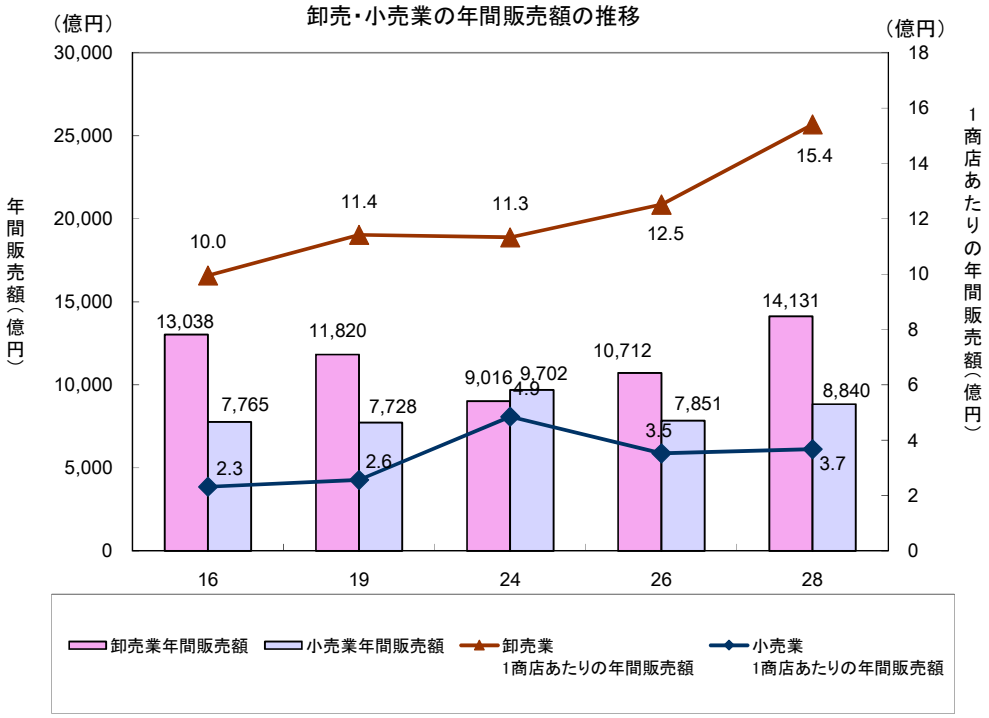
②業種別事業所数の推移



出典：総務省統計局　平成24年：経済センサス活動調査　参考表（町丁・大字別集計）第1表　平成26年：経済センサス基礎調査（町丁・大字別集計）第1表
平成28年：経済センサス活動調査　参考表（町丁・大字別集計）第1表

９．卸売・小売業の年間販売額の推移

卸売業・小売業いずれも、平成 26 年比で「年間販売額」及び「1 商店あたりの年間販売額」共に増加している。

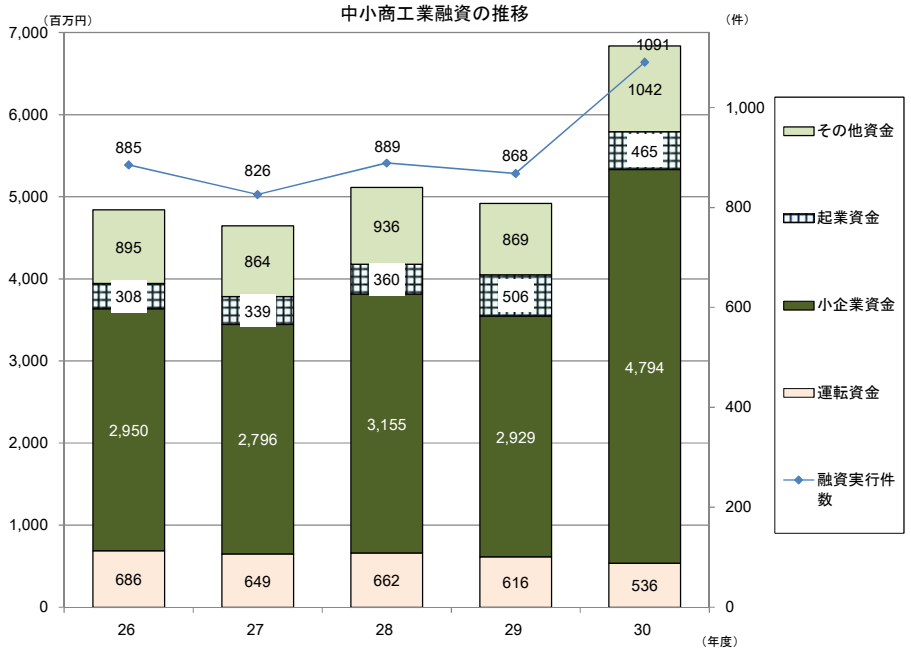


出典：「商業統計調査報告」より

１０．中小商工業融資の状況

小口零細企業保証制度の拡充に伴い、平成 30 年度より融資限度額を 1,250 万円から 2,000 万円に拡充したため、小企業資金が大幅に増加した。結果として、融資総額、融資実行件数ともに大幅に増加している。

運転資金は 25 年をピークに件数が減少傾向にあるが、これは、セーフティネットの指定業種の減少が原因と考えられる。

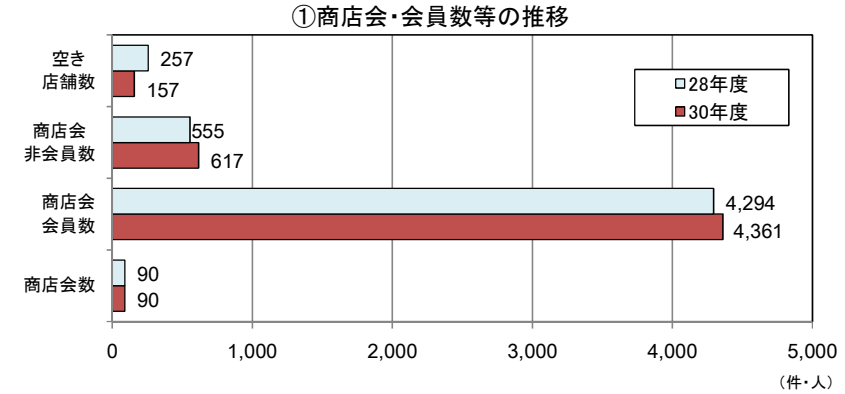


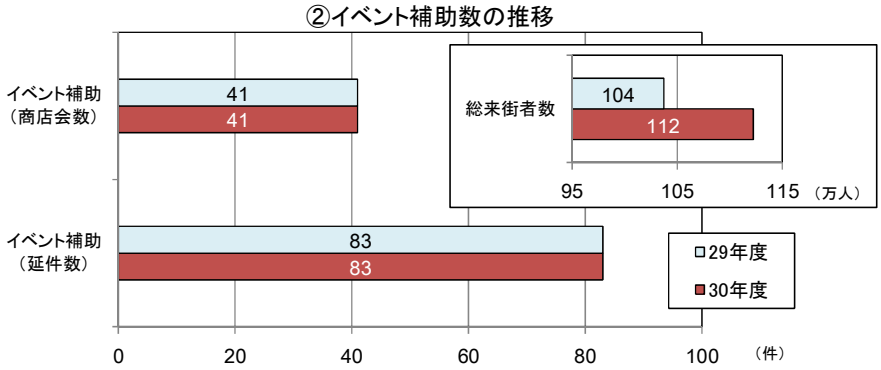
出典：生活産業課作成資料「30.3商工融資表14」

１１．商店街の現況

商店会数は前回と増減はなかった。会員数・非会員数は、増加の傾向を示した。空き店舗数は、減少の傾向となった。

イベント１件あたりの来街者数は、増加傾向となった。





出典:①豊島区商店会届、②補助金事業実績報告

１２．消費生活相談件数の推移

販売購入形態のうち、「通信販売」、「訪問販売」、「電話勧誘販売」は、特定商取引法で規制されており、問題が発生しやすい販売方法であり、全体の 37.3%を占めている。

（件）

販売購入形態	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
店舗購入	765	720	619	563	538
訪問販売	150	150	136	164	157
通信販売	707	650	694	602	617
マルチ・マルチまがい取引	21	35	29	36	31
電話勧誘販売	39	57	45	42	47
ネガティブ･オプション	2	6	3	7	9
訪問購入･その他無店舗販売	33	30	16	21	19
不明・無関係	580	464	414	501	780
計	2,297	2,112	1,956	1,936	2,198

出典:生活産業課作成資料（平成30年度消費生活相談の概要）

【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
新規相談受付件数	2,297件	2,400件	2,500件

１３．消費生活相談の内容

30 年度の相談総件数 2,198 件に対し、相談内容に応じて、複数のキーワードを付与している。上位４位までは、前年度と変わらないが、５位の架空請求が前年度９位から浮上した。また、14 位の補償、15 位のプライバシーが新たに加わった。

（30年度）

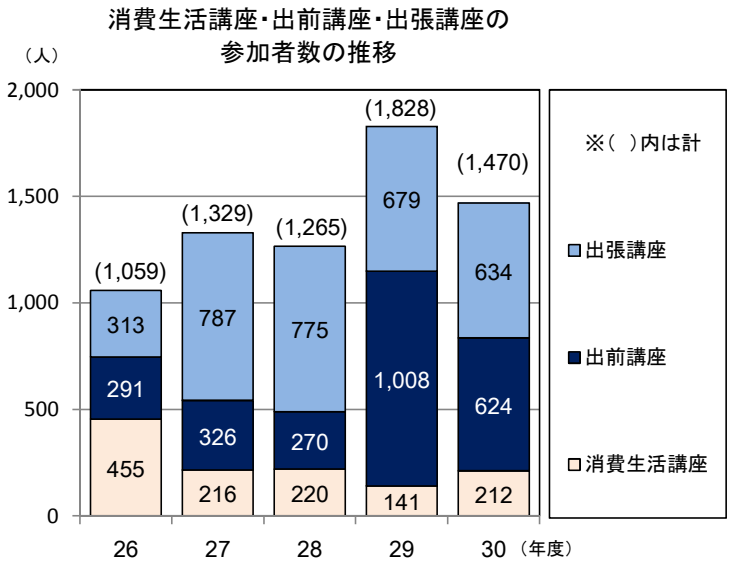
相談内容	件数	相談内容	件数
①解約	636	⑨クレーム処理	176
②インターネット通販	485	⑩説明不足	168
③契約書・書面	437	⑪連絡不能	162
④返金	370	⑫クレジットカード	146
⑤架空請求	353	⑬信用性	141
⑥電子広告	331	⑭補償	138
⑦身分詐称	302	⑮プライバシー	137
⑧高価格・料金	233		

※相談内容より複数項目で集計

出典：生活産業課作成資料（平成30年度消費生活相談の概要）

１４．消費生活講座・出前講座・出張講座の参加者数の推移

消費生活センターでは、区内在住・在勤・在学者を対象に、日常生活を取り巻く消費者問題を幅広く学び、消費者トラブルを未然に回避できる自立した消費者を育成する目的で消費生活講座及び出前講座を開催している。また、悪質商法等による消費者被害を未然に防止することを目的に、最近の事例などを紹介し、だまされないための注意点や対処方法を伝える出張講座を開催している。



出典：生活産業課作成資料（消費生活センターの業務概要）

【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度（現状）	平成32年度（前期目標）	平成37年度（後期目標）
消費生活講座、出前講座、出張講座の参加者数	1,059人	1,200人	1,350人

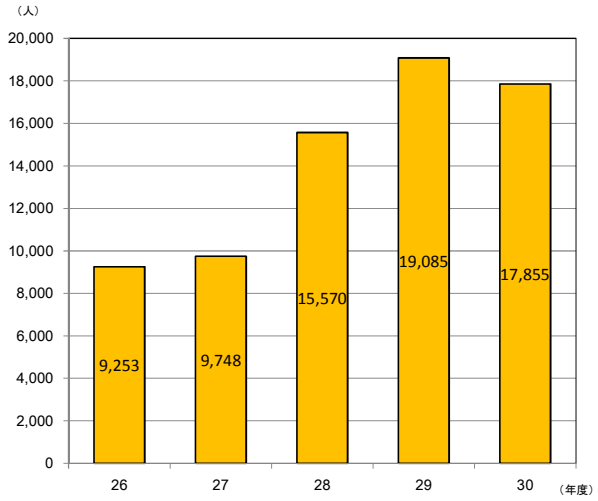
２．観光によるにぎわいの創出

１．観光情報センター

観光、ビジネスなど様々な目的で豊島区を訪れる人達に、観光情報の発信拠点として、名所、イベント、最新スポットなど、ニーズに即した観光情報を提供している。

平成 30 年 1 月 31 日、ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所カテゴリー１を取得。

観光情報センター来場者対応数（イベント含む）



出典：豊島区観光情報センター作成資料

【施設の概要】
〔所 在 地〕 のとやビル3F
（豊島区西池袋1-19-7）
※平成27年10月に豊島区民センター
（豊島区東池袋1-20-10）より移転
〔開業時間〕 平日：9:00～18:00
土・日・祝：10:00～17:00
（閉館日：年末年始：12/29～1/3）
〔業務内容〕 観光案内、観光パンフレット配布、
観光関連サイトの検索・閲覧、
イベント情報の提供、交流都市の紹介 等
〔 運 営 〕 一般社団法人豊島区観光協会

２．雑司が谷情報ステーション（雑司が谷案内処）

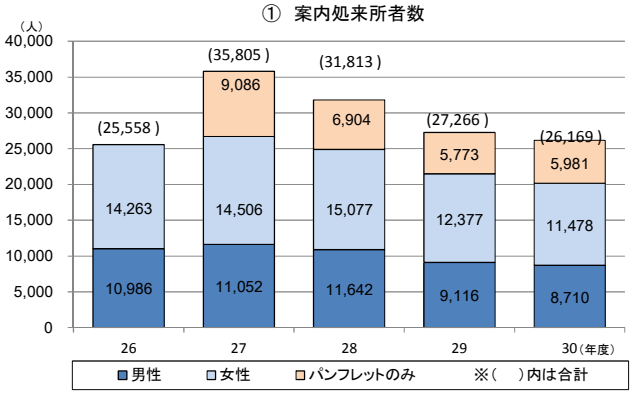
平成 20 年 6 月の副都心線開業を契機に設置された「雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会」の提案を踏まえ、雑司が谷の魅力を広く発信していくための拠点として、平成 22 年 7 月 31 日に開設した。平成 29 年 3 月 14 日には来所者数 20 万人を達成している。

雑司が谷地域のおすすめスポットや地域イベントの紹介、郷土玩具の展示・販売、雑司が谷ゆかりの作品展示など、来街者が観光資源に触れる機会を提供している。

運営は、としま未来文化財団に委託しているが、町会及び商店会長で構成する運営協議会や店番のサポートなどを行う応援倶楽部と協働・連携し、地域に根差した運営を図っている。平成 26 年 12 月、雑司が谷地域が日本ユネスコ協会連盟未来遺産に認定されたことにより、雑司が谷案内処が観光情報センター機能のみならず、地域の協働・連携の拠点として担う役割は大きくなっている。

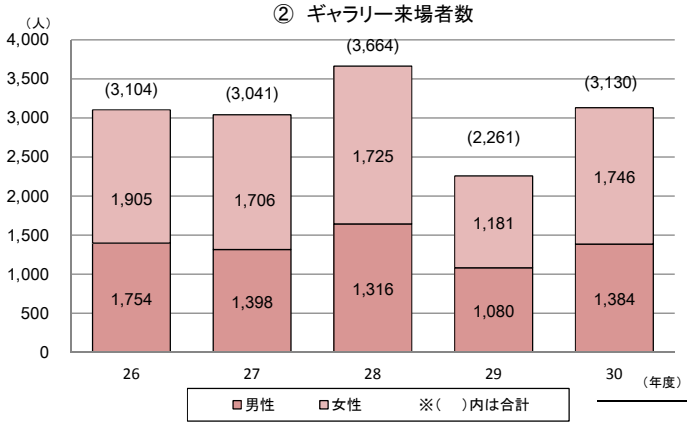
〔所 在 地〕 並木ハウスアネックス内（豊島区雑司が谷3-19-5）
〔開館時間〕 午前10時30分～午後4時30分 （休館日：毎週木曜日、ただし祝日は開館。年末の数日間、休館日あり）
〔業務内容〕 雑司が谷のおすすめスポット案内、地域イベント・商店街の情報提供、郷土玩具・雑司が谷グッズの展示販売、ギャラリー展示
〔 運 営 〕 公益財団法人 としま未来文化財団

① 案内処来所者数



※平成27年度より施設の外にパンフレットを設置し、配布部数を計上している。

② ギャラリー来場者数

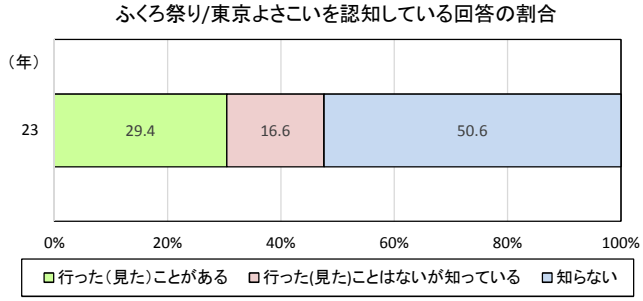


３．区内の主なお祭り・イベント一覧

開催月	開催期間	区内の主なお祭り・イベント	開催場所	開催地域
1月	1/24	例大祭	高岩寺	巣鴨
2月	2/3	椎名町としま商人まつり	椎名橋下広場	長崎
	2/3	節分会	鬼子母神	雑司が谷
			高岩寺	巣鴨
			庚申塚・猿田彦大神	巣鴨
3月	3/1～3/3	としまものづくりメッセ	サンシャインシティ	東池袋
	3/21	染井櫻開花まつり	染井銀座商店街	駒込
	3/30～3/31	南大塚桜まつり	南大塚三丁目桜並木通り	南大塚
	3/31	春の全国交通安全運動とすがも染井吉野桜まつり	巣鴨駅北口周辺	巣鴨
4月	4/7～4/8	台日文化交流	池袋西口公園	西池袋
	4/1	染井よしの桜まつり	染井吉野桜記念公園	駒込
	4/15	カレーフェスティバル＆バングラデシュボイシャキメラ	池袋西口公園	西池袋
	4/18～4/26	池袋西口公園古本まつり	池袋西口公園	西池袋
	4/29	フラワーフェスティバル	サンシャイン通り	東池袋
	4/29～4/30	池袋東口としま商人まつり	中池袋公園ほか	東池袋
5月	5/13	長崎神社獅子舞	長崎神社	長崎
	5/13～5/27	大塚バラまつり	都電大塚駅から向原駅までの沿線	大塚
	5/17～5/30	新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館	池袋西口地区ほか	西池袋ほか
	5/19～5/20	池袋ジャズフェスティバル2018	池袋西口公園ほか	西池袋
	5/24	例大祭	高岩寺	巣鴨
	5/27	池袋めんそ～れ祭り	サンシャイン60通り	東池袋
6月	6/2～6/10	おおつか音楽祭	大塚駅周辺	大塚
	6/2～6/3	池袋フォーク＆カントリーフェスティバル2018	池袋西口公園	西池袋
	6/9～6/10	すがも商人まつり	巣鴨地蔵通り商店街ほか	巣鴨
	6/24	百万遍大念珠供養	眞性寺	巣鴨
7月	7/14～7/15	あうるすぽっと‘にゅ～盆踊り’	池袋西口公園	西池袋
	7/20～7/22	東京フラフェスタin池袋2018	池袋西口公園ほか	西池袋
	7/20～7/21	鬼子母神盆踊り大会	鬼子母神	雑司が谷
	7/28～9/2	としまアート夏まつり	あうるすぽっと、区民ひろばほか	東池袋ほか
8月	8/4	夢の虹	トキワ荘通り周辺	南長崎
	8/25	東京大塚阿波おどり	大塚駅南口大通り	南大塚
	8/30～8/31	豊島の森　夕涼みコンサート	本庁舎10階　豊島の森	南池袋
9月	9/1～9/30	池袋演劇祭	区内各劇場	区内
	9/1～9/2	池袋西口としま商人まつり	池袋西口公園	西池袋
	9/1～12/9	東京芸術祭	東京芸術劇場、あうるすぽっと、南池袋公園、池袋西口公園ほか	池袋
	9/8～9/16	池袋西口公園古本まつり	池袋西口公園	西池袋
	9/24	例大祭	高岩寺	巣鴨
	9/24	伝統芸能＠南池袋公園「ひとはおどる」	南池袋公園	南池袋
	9/22～9/23	ふくろ祭り「前夜祭」・「御輿の祭典」	池袋西口公園ほか	西池袋
10月	10/6～10/7	ふくろ祭り「踊りの祭典」・「よさこいコンテスト」	池袋西口公園ほか	西池袋
	10/7～10/8	池袋本町ふれあいまつり	池袋本町公園ほか	池袋本町
	10/13～11/18	フェスティバル/トーキョー	東京芸術劇場、あうるすぽっと、南池袋公園ほか	池袋
	10/14～10/28	大塚バラまつり	都電大塚駅から向原駅までの沿線	大塚
	10/16～10/18	御会式	鬼子母神	雑司が谷
	10/20	大田楽 いけぶくろ絵巻	としまセンタースクエア、南池袋公園	南池袋
	10/25～10/27	豊島区伝統工芸展	としまセンタースクエア	南池袋
	10/27～10/28	池袋ハロウィンコスプレフェス2018	東池袋中央公園ほか	東池袋
	10/27～10/28	大塚商人祭り	大塚駅南北自由通路、駅前広場	大塚
11月	11/1、13、25	酉の市	大鳥神社	雑司が谷
	11/6～11/14	すがも中山道菊まつり	巣鴨地蔵通り商店街ほか	巣鴨
	11/23	染井よしの桜のふる里秋祭り	染井吉野桜記念公園	駒込
	11/27～1/6	クリスマスイルミネーション点灯	立教大学	西池袋
12月	12/17	キャロリング	立教大学	西池袋

４．ふくろ祭り/東京よさこいを認知している回答の割合

アンケートによる調査を実施。調査期間は平成 23 年 4 月～24 年 3 月まで。回答者は 4,874 人。「ふくろ祭り/東京よさこい」は、豊島区の秋を代表する祭りで、イベント期間中延べ 110 万人もの観客が訪れる。



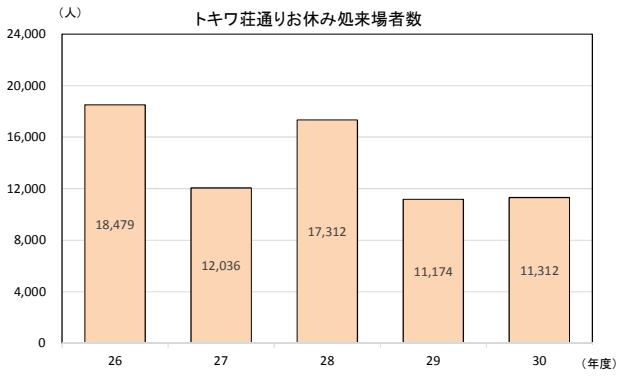
出典：平成23年「来街者動向調査」

【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
「イベント等認知度」に対し、ふくろ祭り／東京よさこいを認知している回答の割合	46.0%	60.0%	70.0%

５．トキワ荘通りお休み処来場者数の推移

トキワ荘跡地周辺の散策拠点となる「トキワ荘通りお休み処」は平成 25 年 12 月の開設以来、５年間で７万人以上の来館者があった。来館者が何度でも訪れたくなるような施設として、展示内容の充実やイベントの開催、情報発信機能の拡充を実施する。



出典：文化観光課作成資料

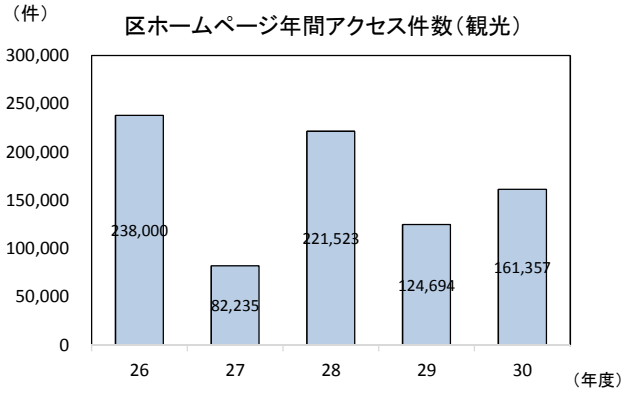
※平成25年12月に開設した。

【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
トキワ荘通りお休み処の来場者数	18,479人	25,000人	30,000人

６．区ホームページ年間アクセス件数（観光）

区観光ホームページのアクセス件数は、受け手にとって魅力的な情報が掲載、発信されているとともに、豊島区の豊富な文化・観光資源の魅力が認知されていることを示す指標となっている。今後も、さらなる来街者増を目指して、より効果的、魅力的、そして受け手にとってわかりやすい情報発信に努めていく。



※平成27年4月に区ホームページをリニューアルした。

出典：文化観光課作成資料

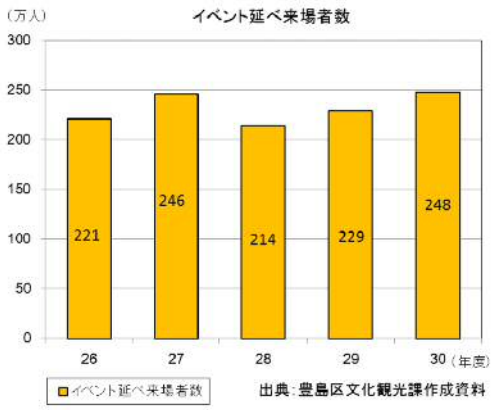
【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
区ホームページ年間アクセス件数（観光）	238,000件	349,000件	506,000件

７．豊島区内イベント延べ来場者数の推移

来街者の受入環境の整備として、外国人観光客の満足度の向上のため、区内の歴史、文化、景観や観光施設等について知識を持つ観光ボランティアガイドの育成や組織化を支援していく。

平成 27 年度に「豊島区外国語観光ボランティアガイドの会」が発足し、平成 28 年度から案内業務を開始している。

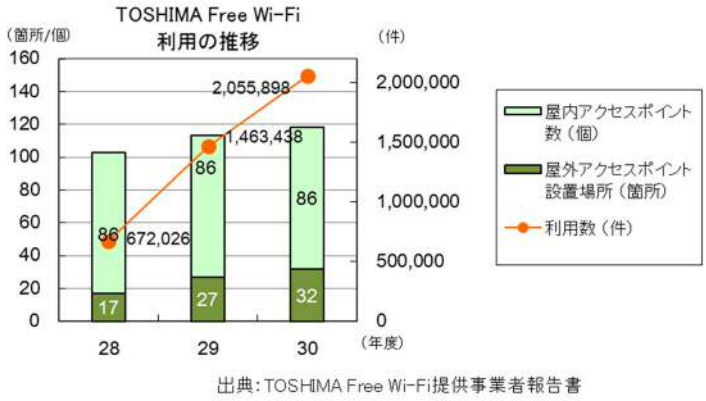


【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
イベント延べ来場者数	2,214,958人	2,280,000人	2,430,000人

８．TOSHIMA Free Wi-Fi 利用数の推移

来街者の受入環境の整備として、多くの外国人旅行者が不便と感じている無料公衆無線 LAN 環境の屋内外での利用可能範囲を拡大し、利便性の向上を図っている。　TOSHIMA Free Wi-Fi を新庁舎に導入したことを契機に、平成 27 年度から事業を開始した。

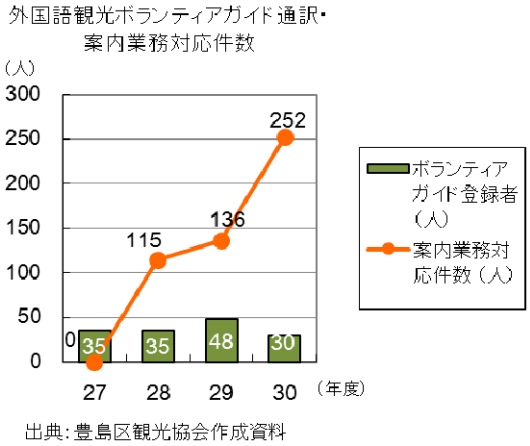


【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
TOSHIMA Free Wi-Fi利用数	H27開始	380,000件	454,000件

９．外国語観光ボランティアガイド通訳・案内業務対応件数

来街者の受入環境の整備として、外国人観光客の満足度の向上のため、区内の歴史、文化、景観や観光施設等について知識を持つ観光ボランティアガイドの育成や組織化を支援していく。平成 27 年度に「豊島区外国語観光ボランティアガイドの会」が発足し、平成 28 年度から案内業務を開始している。



【基本計画2016-2025　施策の達成度をはかる指標】

指標名	平成26年度〈現状〉	平成32年度〈前期目標〉	平成37年度〈後期目標〉
外国語観光ボランティアガイド通訳・案内業務対応件数	H27開始	350人	450人